

新型インフルエンザ対策関連情報

新着ピックアップ

- 第2回新型インフルエンザ(A/H1N1)対策総括会議の開催について 2010年4月7日
- 「第1回新型インフルエンザ(A/H1N1)対策総括会議」での資料について 2010年4月1日
- 新型インフルエンザ(A/H1N1)の流行状況について 2010年3月31日
- 新型インフルエンザ(A/H1N1)対策総括会議の開催について 2010年3月26日
- 第6回新型インフルエンザ予防接種後副反応検討会 2010年3月25日
- 第6回新型インフルエンザ予防接種後副反応検討会 2010年3月25日
- 輸入および国内産ワクチンの比較解説パンフレット(2010年2月10日版) 2010年2月10日
- 新型インフルエンザワクチンQ&A(2010年2月8日版) 2010年2月9日
- 都道府県別 健康成人接種開始日一覧 2010年2月4日

最新ピックアップ一覧 一報速発表資料一覧 一関連法令・通知・事務連絡

新型インフルエンザ関連情報はRSS配信に対応しています。くわしくはこちら

目でみて分かる新型インフルエンザ



長妻大臣会見～新型インフルエンザワクチン接種に係る輸入ワクチンの特例承認及び健康成人への接種開始について(2010年1月15日)

政府広報

【政府インターネットテレビ】

総理の動き～新型インフルエンザ対策本部会合(2009年10月1日)

新型インフルエンザ あなたのかたに答えます(予防編)(2009年9月3日)

YouTube

長妻大臣会見～新型インフルエンザワクチン接種に係る輸入ワクチンの特例承認及び健康成人への接種開始について(2010年1月15日)

中高生・妊婦への新型インフルエンザワクチンの

新型インフルエンザ入門



1. 新型インフルエンザとは？

新型インフルエンザと季節性インフルエンザの違い

今回の新型インフルエンザの特徴



2. かからないための予防法

インフルエンザの感染経路について

かからないための予防法



3. かかったときの対応

かかったかどうかの判断

受診に関する注意



4. 自宅での療養

自宅療養の注意点

回復後の外出



5. ワクチン

ワクチンの効果
ワクチンの安全性

接種の回数

新型インフルエンザ関連資料

政府広報

パンフレット

インフルエンザかな？
症状がある方々へ

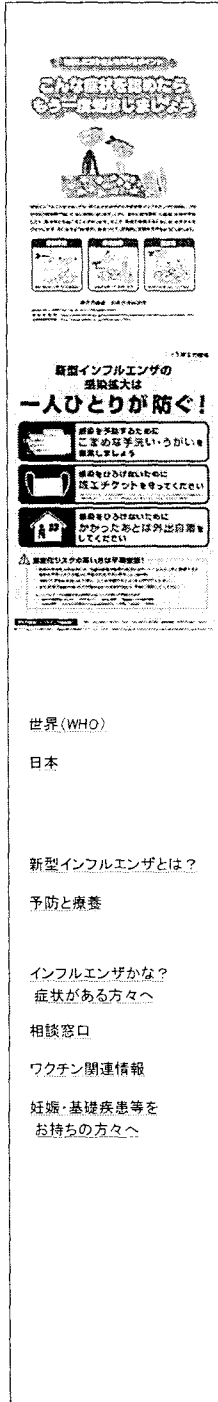
厚労省/都道府県別
相談窓口

ワクチン関連情報

新型インフルエンザ予防接種による
健康被害救済制度

妊娠・基礎疾患等をお持ちの方々へ

Q&A



新型インフルエンザの
予防は
一人ひとりが防ぐ！

- 咳やくしゃみをしたときに
こまめに手洗いうがいや
マスクをしよう
- 咳やくしゃみをしたときに
マスクを着けてください
- 咳やくしゃみをしたときに
かかったあとには外出自粛を
してください

世界(WHO)
日本
新型インフルエンザとは？
予防と療養
インフルエンザかな？
症状がある方々へ
相談窓口
ワクチン関連情報
妊娠・基礎疾患等をお持ちの方々へ

新型インフルエンザ

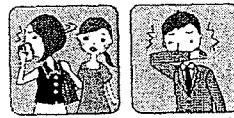
～「かからない」ために。「うつさない」ために。～

■新型インフルエンザも、他の病気と同様、日頃からの予防が大切です。

- 「頻繁な手洗い」、「うがい」を心がけましょう。
- 咳やくしゃみをする際には、「咳エチケット」を守りましょう。

※「咳エチケット」とは？

- ・咳やくしゃみが出たときは、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、周囲の人から顔をそらしましょう。
- ・使用したティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。
- ・その後すぐに、手洗いしましょう。手洗いをする前は、不必要に周囲に触れないよう、注意しましょう。



■かかったかなと心配なときは、まず、「発熱相談センター」に相談してください。

- 海外から帰国した後で、急な発熱や咳が出る時などは、病院に行く前に、まず、最寄りの保健所などに置かれている「発熱相談センター」に電話をしてください。

- 最寄りの「発熱相談センター」の連絡先は、下記の各都道府県・政令指定都市の相談窓口までお問合せいただくか、厚生労働省のホームページをご覧ください。

※「発熱相談センター」では、専門の診療を行う「発熱外来」の案内など、適切なアドバイスを受けられます。



■これまでのところ、早期に適切な治療を受ければ、おそれる必要はありません。

○タミフルやリレンザといった薬品も、治療効果が認められており、国や都道府県などで、約3,800万人分の備蓄があります。

■政府・各自治体が発表する情報に十分注意して、冷静な対応をお願いいたします。

【新型インフルエンザに関する各都道府県・政令指定都市の相談窓口】

北海道	011-204-5259	埼玉県	048-830-3572	山梨県	055-223-1494	和歌山県	073-441-2643	佐賀県	0120-82-1025
青森県	017-734-9284	埼玉県	048-830-3557	長野県	026-235-7148	鳥取県	0857-26-1154	長崎県	095-895-2046
岩手県	019-629-5466	千葉県	043-223-2665	岐阜県	058-272-1111	島根県	0852-22-6131	熊本県	096-333-2240
岩手県	019-629-5472	千葉県	043-223-2675	静岡県	054-221-8560	岡山県	086-273-8092	大分県	097-506-2669
宮城県	022-211-2632	東京都	03-5320-4509	愛知県	052-954-6272	広島県	082-228-2154	宮崎県	0120-793-089
宮城県	018-860-1425	神奈川県	045-633-3777	三重県	059-224-2339	山口県	083-933-2956	鹿児島県	099-286-2724
山形県	023-630-2315	新潟県	025-280-5200	滋賀県	077-528-4983	徳島県	088-621-2228	沖縄県	098-866-2185
福島県	024-521-7895	富山県	076-444-3225	東京都	075-414-4726	香川県	087-832-3303		
茨城県	029-301-4601	石川県	076-225-1438	大阪府	06-6944-6791	愛媛県	089-312-2400		
栃木県	028-623-3089	福井県	0776-20-0701	兵庫県	078-362-3226	高知県	098-823-8092		
群馬県	027-226-2617	福井県	0776-20-0703	奈良県	0742-27-8656	福岡県	092-643-3279		
札幌市	011-622-5199	千葉市	043-239-1792	新潟市	025-212-8194	京都市	075-222-3421	岡山市	086-003-1262
仙台市	022-214-6029	千葉市	043-238-9920	静岡市	054-249-3173	大阪市	06-6647-0956	広島市	082-504-2622
さいたま市	048-840-2220	横浜市	045-671-4183	浜松市	053-453-6118	堺市	072-228-7023	北九州市	0120-123-115
		川崎市	044-200-2692	名古屋市	052-972-2631	神戸市	078-335-2151	福岡市	092-761-7328

※対応時間は各窓口により異なります。

【新型インフルエンザに関する厚生労働省の電話相談窓口】 03-3501-9031 (受付時間 9:00～21:00 土曜日・日曜日・祝日を含む。)

【新型インフルエンザに関する詳しい情報は】

首相官邸ホームページ <http://www.kantei.go.jp> 厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp>

ひとり一人が感染拡大を防ぐ！

新型インフルエンザの予防には、こまめな手洗いと
うがいが有効です。かかったと思ったら、マスク等の
咳エチケットと外出自粛をお願いします。基礎疾患
(ぜんそく、糖尿病など)を持つ方や妊婦さんは、
早期に受診して下さい。詳しくは厚生労働省HPまで。

厚生労働省

新型インフルエンザ ワクチン接種について

知っていただきたいこと、ご理解いただきたいこと

新型インフルエンザの特徴

感染力は強いのですが、多くの感染者は軽症のまま回復しており、治療薬(タミフル・リレンザ)が有効です。ただし、基礎疾患(糖尿病、ぜん息など)のある方、妊婦さんや子どもさんは重症化する可能性があり、注意が必要です。

ワクチン接種の効果

今回の新型インフルエンザワクチンには、重症化や死亡の防止には一定の効果も期待されます。ただし、感染を防ぐ効果は証明されており、接種したからといって、感染しないわけではありません。

ワクチンの有効性・安全性

国内産ワクチンの安全性は、長年接種されてきた季節性インフルエンザワクチンと同程度と考えられ、有効性もある程度期待されます。輸入ワクチンに関しては、海外で承認されていることを前提として、有効性・安全性を確認して、実際の接種を始めます。

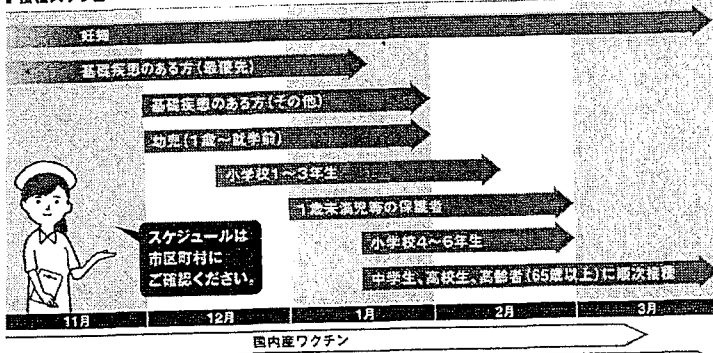
ワクチン接種には、発症、重症化、死亡を抑える効果が期待できます。

ワクチン接種は、多くの方に重症化予防というメリットをもたらしますが、接種後、腫れたり、発熱の症状が出たり、まれに重篤な症状を引き起こす可能性もあります。この点をご理解のうえ、個人のご判断により接種を受けていただくようお願いいたします。接種回数は、すでに接種が開始されている医療従事者を除き、現在2回としていますが、今後、国内データや海外の知見など科学的根拠に基づき、1回にできるか検討します(13歳未満の方は2回です)。結果は速やかにお知らせします。

優先的に接種できる方々

新型インフルエンザワクチンは、順次、生産されていくため、優先的に接種できる方々と接種の標準的なスケジュールを決めさせていただきました。なお、このスケジュールは、対象者が全員接種(2回接種)すると仮定した場合のもので、特に接種回数については、現在検討中であり、実際には前倒しになることもあります。

接種スケジュール



※上記以外の方々の接種については、上記の方々の接種状況を踏まえ、対応していきます。
※「基礎疾患のある方(最優先)」とは、基礎疾患を有する方のうち、「1歳~小学校3年生」および「特に重症化リスクが高いとして、一定の基準に該当する」と医師が判断した方です。

接種までの流れ

スケジュールと場所の確認

優先接種の対象者は、お住まいの市区町村にお問い合わせいただき、接種スケジュールと接種を行っている医療機関などを確認してください。

提示書類の用意

実際に接種を受けるときには、窓口で書類の提示が必要です。あらかじめご準備ください。(書類一覧は下表参照)。

予約

接種を行っている医療機関などに予約を入れてください。ただし、医療機関によっては、予約は不要です。詳しくは、各医療機関にお問い合わせください。

接種

接種後、接種部位に腫れなどの症状が出るかもしれません。ほとんどは軽い一過性の症状でおさまりますが、気になる症状が出たり長引いたりする時は、医師にご連絡ください。

●主な提示書類リスト (下記のとおり「何か1つ」をご提示ください。)

基礎疾患のある方	「優先接種対象者証明書(かかりつけ医で発行)」等 ※かかりつけ医が接種する場合は必要ありません。
妊婦	「母子健康手帳」等
幼児(1歳~就学前)および 小学校1~3年生	「母子健康手帳」「各種健康保険被保険者証」等
1歳未満の小児の保護者	「母子健康手帳」「各種健康保険被保険者証」「住民票」等
優先接種対象者のうち、身体上の理由で予約接種できない方の保護者等	「優先接種対象者証明書(かかりつけ医で発行)」 「各種健康保険被保険者証」「住民票」等
小学校4年生から高校生に相当する年齢の方	「各種健康保険被保険者証」「学生証」「住民票」等
高齢者(65歳以上)	「各種健康保険被保険者証」「運転免許証」「住民票」等

接種場所

内科、小児科、産婦人科等の医療機関で受けられます。市区町村によっては、保健センター等で受けられる場合もあります。接種を行っていない医療機関もあるのでご注意ください。

接種費用

全国一律で実費を徴収させていただきます。所得の少ない世帯に対しては、費用負担を軽減いたします。

1回目	3,600円
2回目	2,550円
2回目の接種が1回目と異なる医療機関での接種は3,600円	

広報は、10月20日時点の情報による決定事項をお伝えしています。とも国や自治体の発表する情報にご注意いただき、冷静に対応していただくようお願いいたします。

詳しくは、お住まいの都道府県・市区町村まで。
新型インフルエンザに関する情報は、厚生労働省ホームページをご覧ください。

厚生労働省 新型インフルエンザ